

保健福祉局

| | |
|----------|--------------------------|
| 一般会計要求総額 | 186,882 百万円（対前年度 + 6.2%） |
| 特別会計要求総額 | 238,999 百万円（対前年度 + 4.4%） |
| 病院事業会計 | 1,304 百万円（対前年度 + 53.4%） |

【令和8年度 予算要求の方針】

高齢者や障害のある人も含めて、誰もが社会活動に参加し活躍できる人生100年時代のサステナブルなまちの実現を目指して、市民が自ら望む方法で地域貢献できるよう、学びや実践、つながりの仕組みづくりに取り組みます。

また、令和7年11月にリニューアルオープンした「テクノケア北九州」を活用した官民連携による新たな取組みのほか、「先進的介護『北九州モデル』」等の取組みを国内外に発信することにより「稼げるまち」の実現を目指します。

さらに、人と人とのつながりの中でお互いを尊重し合い、温かく支え合うまちづくりのため、デジタル技術を活用しながら、保健・医療・介護・福祉分野の基盤を整備することにより「安らぐまち」を実現し、誰もが自分らしく安心して幸福に暮らすことができるまち、全ての市民が健やかで心豊かに生活できるまちを目指します。

<模様替えの考え方>

高齢化の進展や福祉サービス利用者の増等より福祉サービス等の提供に要する経費は年々増加しています。今後も市民に必要な保健福祉施策が提供できるよう、制度等の持続可能性を保つために必要な見直しを行います。

【令和8年度 予算要求の基本的な考え方】



人権の約束事運動「ほっとハート北九州」
マスコットキャラクター
「モモマルくん」

I 「稼げるまち」の実現

稼げる「人」を育む・稼げる「産業」をつくる

- 新「テクノケア北九州」介護テクノロジー普及・啓発促進事業 先進的介護「北九州モデル」推進事業
女性にやさしい社会づくりに向けたウーマンヘルスケア推進事業
新保健福祉課題×スタートアップ共創実証事業 など

新：新規事業、拡：拡充事業

II 「彩りあるまち」の実現

彩りある「時」をつくる

- 新障害福祉×他分野との共創事業 ～NUKUMORI PLUS プロジェクト～ など

III 「安らぐまち」の実現

暮らしの「安心」を支える

- | | |
|-----------------------------|------------------------|
| 新認知症啓発促進事業 | 新介護予防のための体力測定会実施事業 |
| 新幸福な100年プロジェクト事業 | 新安心して歳を重ねることができる終活支援事業 |
| 新活動費増額！民生委員・児童委員支援強化事業 | 重層的支援体制整備事業 |
| 新つなぐ・つながる手話事業 | 新医療的ケア児地域生活支援事業 |
| 在宅医療普及啓発事業 | 新在宅人工呼吸器使用患者・災害時総合支援事業 |
| 健康リテラシー向上事業 | 結核・感染症発生動向調査事業 |
| 新介護事業者の負担軽減に向けたオンライン申請実用化事業 | 保護犬ねこ不妊去勢サポート事業 |
| 新(仮称)保険年金事務センター設置・運営事業 | |

◆◆◆主な特別会計◆◆◆

| | |
|-------------|---------------------|
| 国民健康保険特別会計 | (予算要求額 96,752 百万円) |
| 介護保険特別会計 | (予算要求額 114,645 百万円) |
| 後期高齢者医療特別会計 | (予算要求額 23,873 百万円) |

※公開時点での予算要求の内容であり、令和8年度に実施することが確定しているものではありません。



北九州市健康イメージキャラクター
「スマッキー」

重点的に取り組みたい主なもの

(単位：千円)

| 「稼げるまち」の実現 | | |
|-------------|---|---|
| 1 | 新 | 【事業名】「テクノケア北九州」介護テクノロジー普及・啓発促進事業 【事業費】20,000千円 |
| | | 【事業概要】 「テクノケア北九州」を拠点に、大学・企業・行政等、官民連携のもと、テクノロジーを活用した在宅介護支援のモデル実証を行い、テクノロジーを通じた新しい在宅介護のあり方を提案する。 また、テクノロジーを活用した在宅介護の新たなモデルを発信し、地域における介護テクノロジーの理解促進と利用拡大を図る。 |
| 2 | | 【事業名】先進的介護「北九州モデル」推進事業 【事業費】21,640千円 |
| | | 【事業概要】 介護人材不足に対応するため、介護ロボット等のテクノロジーを活用した先進的介護「北九州モデル」の普及促進を図り、介護施設において介護の質を維持しつつ生産性を高めていく。 また、介護助手活用モデルの普及促進による先進的介護「北九州モデル」の深化・拡充や、在宅介護サービスに関する新たな「北九州モデル」の構築に取り組むとともに、稼げる介護ビジネスモデル構築に向けた調査・研究を行う。 |
| 3 | | 【事業名】女性にやさしい社会づくりに向けたウーマンヘルスケア推進事業 【事業費】5,000千円 |
| | | 【事業概要】 女性の健康にやさしい社会づくりを推進するため、健康経営の視点で女性の健康に配慮した職場環境推進に向けた取り組みを行うとともに、高校・大学生を対象に正しい知識の理解促進を行う出張トークや民間事業所と連携したがん検診を行い、女性自身の健康への関心やヘルスリテラシーの向上を図る。 |
| 4 | 新 | 【事業名】保健福祉課題×スタートアップ共創実証事業 【事業費】0千円 |
| | | 【事業概要】 保健福祉分野における行政課題および地域課題に対し、産業経済局が推進するスタートアップ支援の枠組みを積極的に活用し、既存の課題解決に取り組むとともに、新たな課題の発掘・整理を進める。 |
| 「彩りあるまち」の実現 | | |
| 5 | 新 | 【事業名】障害福祉×他分野との共創事業～NUKUMORI PLUSプロジェクト～事業 【事業費】5,000千円 |
| | | 【事業概要】 ホテル等観光事業者など様々な分野の方々と共に、障害のある人の制作したアート作品や商品などの展示・販売・商品開発などを行い、観光客や市民などに広く発信することで、障害のある人が社会で活躍できる機会を増やし、地域発の新しいブランド価値の創出につなげる。 |
| 「安らぐまち」の実現 | | |
| 6 | 拡 | 【事業名】認知症啓発促進事業 【事業費】11,362千円 (認知機能セルフチェック・MCI普及啓発事業) |
| | | 【事業概要】 従来の認知症に関する正しい知識の啓発に加え、新たに軽度認知障害（MCI）の早期の気づきと対策の重要性に関する知識の普及を促すことを目的に、「VR」と「視線追跡」を利用した認知機能セルフチェッカーなどを活用し、認知機能チェックを実施する。 |

重点的に取り組みたい主なもの

(単位：千円)

| | | | |
|----|---|--|----------------|
| 7 | 新 | 【事業名】 介護予防のための体力測定会実施事業 | 【事業費】 1,577千円 |
| | | 【事業概要】 市民が、自身の健康状態を客観的に把握し、個々の健康課題にあった健康づくり・介護予防活動に自主的に取り組む動機づけを図るとともに、継続的な取組の効果を検証することを目的に「測定会」を実施する。 | |
| 8 | 新 | 【事業名】 幸福な100年プロジェクト事業 | 【事業費】 10,000千円 |
| | | 【事業概要】 人生100年時代の幸福な長寿社会づくりの基盤となる、地域ウェルビーイング人財を育む仕組みづくりに向けて、局横断連携による事業のあり方を検討する。 | |
| 9 | 拡 | 【事業名】 安心して歳を重ねることができる終活支援事業 | 【事業費】 10,000千円 |
| | | 【事業概要】 人生100年時代を迎えようとする中、持続可能な高齢化社会の構築を図るため、誰もが自分らしく安心して終活の取り組みを行えるよう、民間の力を最大限に活用しながら、終活を推進する仕組みづくりを行う。 | |
| 10 | 拡 | 【事業名】 活動費増額！民生委員・児童委員支援強化事業 | 【事業費】 4,629千円 |
| | | 【事業概要】 近年、地域における福祉課題の複雑化、多様化、さらに物価高騰などで民生委員・児童委員の負担が増えていることから、活動費を増額し、負担を軽減することで、活動意欲の向上及び地域福祉活動の維持を図る。 | |
| 11 | | 【事業名】 重層的支援体制整備事業 | 【事業費】 45,020千円 |
| | | 【事業概要】 少子高齢化など社会環境の変化を背景に人と人とのつながりが希薄化する中、8050問題やダブルケアなど、個人や世帯が抱える課題が複雑化・複合化し、従来の分野別の支援制度では対応が難しい事例が顕在化している。 こうした課題に対応するため、「①相談支援」「②参加支援」「③地域づくりに向けた支援」を一体的に実施する重層的支援体制整備事業により、分野を超えた多機関による支援や、人と人とのつながりづくりを推進する。 | |
| 12 | 新 | 【事業名】 つなぐ・つながる手話事業 | 【事業費】 1,000千円 |
| | | 【事業概要】 手話施策推進法の施行（令和7年6月）を踏まえ、聞こえない・聞こえにくいこどもが乳幼児期から手話に触れる機会として「手話による読み聞かせ」を実施するほか、聴覚障害への理解と手話の普及を行うため、手話を学び、聴覚障害のある人との交流を行う「こども手話講座」や「初めての手話講座」を実施する。 | |
| 13 | 拡 | 【事業名】 医療的ケア児地域生活支援事業 | 【事業費】 23,482千円 |
| | | 【事業概要】 国において医療的ケア児支援法改正に向けた検討が進むなど、医療的ケア児及びその家族に対する支援の必要性がより一層高まっていることを受け、レスパイト事業の助成対象時間数を48時間から192時間へ拡大、コーディネーターを専任化するなどの取組により支援体制の充実を図る。また、支援者で構成する協議会や人材育成及びネットワーク構築のための会合に係る経費を確保し、地域全体で支える取組の充実を図る。 | |

重点的に取り組みたい主なもの

(単位：千円)

| | | | |
|----|---|--|----------------|
| 14 | | 【事業名】在宅医療普及啓発事業 | 【事業費】12,000千円 |
| | | 【事業概要】 病気や要介護状態となっても、住み慣れた地域で療養しながら安心して暮らし続けることができるよう、その選択肢の一つとなる在宅医療の普及・促進を図るため、「提供体制の拡充」に向けて、在宅医療に係る事例研修や同行訪問研修事業を継続実施し、在宅医療に関わる医師の新規参入や拡充を促進するとともに、「認知・理解の向上」に向けて、市民等への周知・啓発に係る取り組みを行う。 | |
| 15 | 拡 | 【事業名】在宅人工呼吸器使用患者・災害時総合支援事業 | 【事業費】6,000千円 |
| | | 【事業概要】 在宅の人工呼吸器使用患者が、大規模災害時に安心して避難生活を送ることができるよう、非常用電源の購入費助成や家庭での備えの点検（自助）、災害時個別支援計画の作成（共助）、対応指針の作成（公助）を実施・推進することにより、「自助」「共助」「公助」の3つの視点から重層的な支援体制の構築に取り組む。 | |
| 16 | | 【事業名】健康リテラシー向上事業 | 【事業費】3,636千円 |
| | | 【事業概要】 様々な生活様式に合わせ、市民一人ひとりが自分の健康をコントロールし、生活習慣を改善・維持するための方法や知識を習得できるよう、官民協働で講演会や啓発イベント等を開催するとともに、健康づくりに取り組む地域コミュニティへ医師等による学習支援を実施する。 | |
| 17 | | 【事業名】結核・感染症発生動向調査事業 | 【事業費】20,558千円 |
| | | 【事業概要】 市内の感染症の発生状況を把握・分析し、市民へ情報提供することで、感染症の発生及びまん延を防止する。 | |
| 18 | 新 | 【事業名】介護事業者の負担軽減に向けたオンライン申請実用化事業 | 【事業費】3,158千円 |
| | | 【事業概要】 介護事業者等が要介護認定申請を行う際の負担軽減を図るため、要介護認定のオンライン申請と、それに伴う業務のバックオフィス化に向けた作業工程等の検証を行う。 | |
| 19 | | 【事業名】保護犬ねこ不妊去勢サポート事業 | 【事業費】3,000千円 |
| | | 【事業概要】 致死処分ゼロの継続と不幸な命を増やさないため、また、野良猫等に起因する糞尿被害などへの対応として、飼い主のいない犬猫等への不妊去勢手術が有効である。そのため、飼い主のいない犬猫等を保護し、譲渡活動を行っている団体等に不妊去勢手術費用の一部を助成する。 | |
| 20 | 新 | 【事業名】（仮称）保険年金事務センター設置・運営事業 | 【事業費】129,605千円 |
| | | 【事業概要】 各区役所の国保年金課業務について、現在大規模区（小倉北区・小倉南区・八幡西区）で実施している窓口業務委託を全区に展開するとともに、申請書類の事後処理等を実施する拠点として「（仮称）保険年金事務センター」を設置し、バックヤード業務の集約化及び委託化を進める。 | |